

活動報告

昨年11月15日、福岡県議会の議長代理として服部誠太郎県知事とともに政府予算要望で上京しました。

要望先は松山政司参議院自民党幹事長などの国会議員や予算に関する大臣、事務次官などです。



この中で「年収103万円の壁」の議論について要望しました。

昨年末に決定された与党の税制改正大綱では、所得税の非課税枠を2025年は20万円引き上げて123万円とすることを決定し、さらなる引き上げには、安定的な財源確保が必要とされました。

服部知事は「壁の見直しで地方の財源が減少することが懸念される」と指摘しました。非課税枠の拡充は、財源が減る地方にとっては頭が痛い問題です。

県政で
久留米・うきは
力UP

月刊えぐち
2025冬
vol. 1



福岡県議会議員 江口よしあき
自民党福岡県議団

発行／江口よしあき事務所
〒830-0062 久留米市荒木町白口2324-3
古賀第2ビル103号
TEL 0942-26-3324 FAX 0942-26-3382
Mail:office@eguchi.ne.jp

江口よしあきプロフィール

1974年 久留米市荒木町に生まれる
1980年 久留米市立荒木保育園を卒園
1986年 久留米市立荒木小学校を卒業
1989年 福岡教育大学附属久留米中学校を卒業
1992年 松尾学園弘学館高等学校を卒業
1997年 早稲田大学社会科学部を卒業
同年 九州朝日放送（KBC）に入社
2003年 久留米市議会議員に初当選（連続2期）
2011年 福岡県議会議員に初当選（現在4期目）
2024年 第87代福岡県議会副議長に選出

■令和7年・福岡県議会日程（予定）

2月定例会 2月4日（火）～2月20日（木）

■傍聴について

県議会の会議は公開を原則としていますので、会議中はいつも傍聴でき、傍聴を希望される方に傍聴券を交付しています。
最新及び詳細は福岡県議会ホームページで。

月刊えぐち VOL. 1

2025年

あまおうの今後①

福岡県産のいちご「あまおう」は種苗の独占販売権である「育成者権」が2025年1月19日で期限切れとなり、今後、誰でも栽培できるようになります。

あまい・まるい・おおきい・うまいの頭文字を取って、ネーミングされた「あ

まおう」は福岡県のいちご、としてブランド戦略も成功し、2003年度から20年連続で販売単価日本一を達成しています。高い販売単価は、農家所得の増大につながり、高齢化が進む農業の中にあっても「あまおう」は新規就農者に人気です。
(②に続く)

福岡県内の「あまおう」生産者の皆様へ

これまで、育成者権に基づき県内限定生産を実施してきましたが

これからも、商標権に基づき県内限定生産を続けます！

＼県内生産者一丸となって、「あまおう」を守っていきましょう！／



「JA全農
ふくれん」
資料より

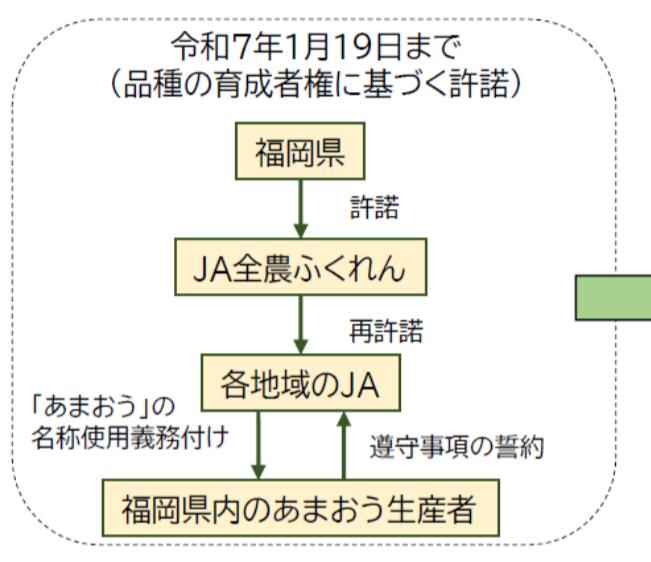


あまおうの今後②

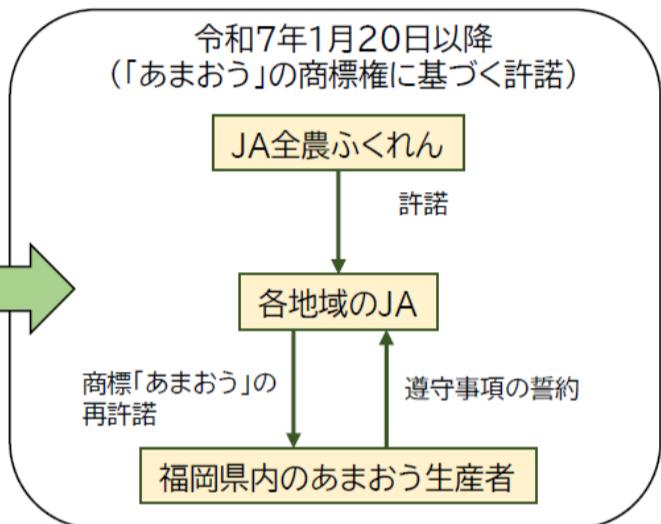
福岡県農業を牽引してきた「あまおう」の期限切れへの対応は、ここ数年福岡県議会でも議論されてきました。県では「苗を県内生産者に限定して供給する」として、栽培農家と誓約書を交わすこととしました。その上で、商標権を使って「あまおう」を守る、としています。商標権の存続期間は10年ですが、更新が可能で永久に存続させることができます。

とはいっても「育成者権」と違い、強制力は弱く、同じ品種のいちごが市場に出回る可能性はゼロではありません。実際、「あまおう」に似た品種を海外で目にすることがありますし、シャインマスカットなどは既に大量に海外で生産されています。

誓約書を守り、県外流出をさせない取り組みと同時に「あまおう」の次の品種を打ち出すことがとても重要です。



「JA全農ふくれん」資料より



※苗は従前どおり、各地域のJAから生産者へ供給されます。

県境地域振興ビジョン

福岡県は県境地域振興ビジョンを策定しました。この振興ビジョンは、福岡県内でも人口減少や経済活動の縮小が著しい大牟田市などの有明地域と豊前市などの豊築地域の2地域で策定されます。



これらの地域では有明地域であれば荒尾市、豊築地域であれば中津市という隣県の都市に人口が吸い取られています。

もちろん、福岡県も地域振興政策には取り組んできましたが、行政区画上、県境地域は周辺部になるため地域振興の中核ではありませんでした。

県境地域は、その特殊性から様々な施策を実施する上で隣県の自治体と相互に影響を受け合う関係にあります。例えば、県境を越えて周防灘地域や有明圏域という広い地域で定住自立圏として生活機能などの強化にも取り組んでいます。



「総務企画地域振興委員会」資料より

福岡県は、大分県・熊本県及び関係市町とのこれまでの協議を踏まえて一層連携し対象地域の振興を推進する、しています。

久留米市も佐賀県、特に鳥栖市とは密接な関係にあります。改めて、県境地域の地域振興策を議論したいと考えています。